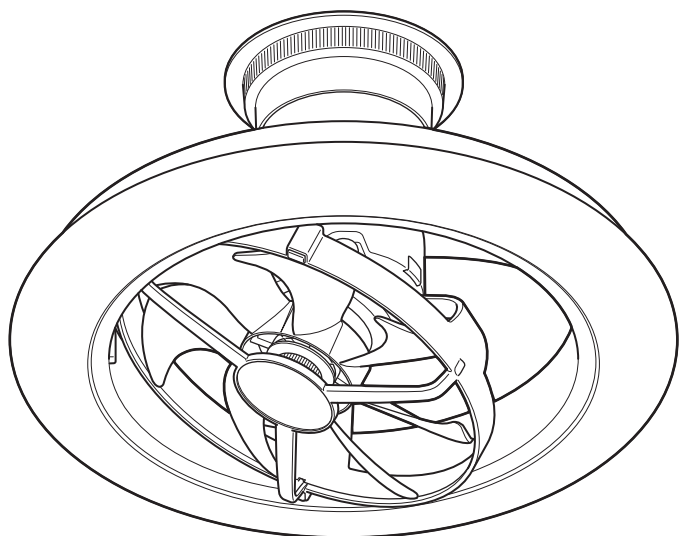


CIRCULIGHT

サーキュライトEZシリーズ DCC-SW12EV / KCC-SW12EV ACC-SW12EV / TCC-SW12EV

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、いつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	P.1~P.2
各部の名称とはたらき	P.3
使用前の準備	P.4~P.6
設置	P.7~P.8
正しい使いかた	P.9~P.14
お手入れと保存	P.15~P.16
修理・サービスを依頼する前に	P.17~P.18
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	P.18
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕 様



品名	サーキュライトEZシリーズ	
型名	DCC-SW12EV / KCC-SW12EV / ACC-SW12EV / TCC-SW12EV	
電源	AC100V 50/60Hz	
LED ライト部	定格消費電力	約51W (100%点灯時)
	器具光束	約5000lm(ルーメン) (100%点灯時)
	機能	調光10段階、調色7段階、常夜灯2段階
ファン部	定格消費電力	約19W (風量最大時)
	機能	風量7段階調節、正逆回転切替、スイング機能2段階・回転2段階、リズム、オフタイマー
推奨使用周囲温度	5~35℃	
外形寸法	(約) φ450 mm × 245 mm (引掛刃は除く)	
本体質量	約2.1 kg	
付属品	リモコン(DCC-SWEC)×1、リモコン用単4形乾電池(お試用)×2、リモコンケース×1、リモコンケース取付用ネジ×2、取扱説明書・保証書×1	

- LED光源など部品の交換はできません。
- LED光源にはバラツキがあるため、同じ型名の製品であっても発光色、明るさが異なる場合がございますのでご了承ください。
- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)
- 取扱説明書に使用されているイラストと実際の製品は一部異なる場合があります。



Y1904A

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)




図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 直流電源では使用しないでください。 破損・発煙・火災・感電の原因になります。	 禁止	湿度の多い風呂場などでは使用しない。 水滴がかかる場所では使用しない。 感電・火災の原因になります。	 指示	調光機能のついた電源(壁スイッチなど)は使用することができないので、電気工事士資格取得者に交換工事を依頼する。 そのまま使用すると火災・故障の原因になります。 工事は販売店・工事店などに相談してください。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		配線器具が傷んだり、差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		引掛シーリングは奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・火災・落下の原因になります。
	取り付けできない配線器具には無理に取り付けない。 (取り付けできない配線器具) ・電源端子が露出しているもの ・破損しているもの ・取り付けが不十分でグラグラするもの 火災・感電・落下してけがの原因になります。		前ガードを取り付けずに運転をしない。 けが・故障の原因になります。		本体の取りはずしには必ず引掛シーリングのリリースボタンを押す。 破損・感電の原因になります。
	屋内専用なので、屋外では使用しない。 器具周囲温度5～35℃の範囲内で使用してください。 火災・感電の原因になります。		異常時(こげ臭い、発煙など)はすぐに電源を切るか、本体を取りはずす。 火災・感電の原因になります。		分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店にご相談ください。
	調光機能付の電球機器や回路、非常用照明器具、HIDランプ(高輝度放電灯)器具での使用をしない。 破損・発煙の原因になります。		取り付け・取りはずしをするときは必ず電源を切って行なう。 けが・故障の原因になります。		ぬれた手で、本体・引掛シーリング部分の取り付け・取りはずしをしない。 感電の原因になります。
本体に布や紙をかけたり、おおったり、熱のこもる使いかた、燃えやすいものを近づけたりをしない。 火災・故障の原因になります。	引掛シーリングにホコリが付着している場合は拭きとる。 ホコリが付着したまま差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止			
ストーブなど温度の高くなるものを近く・真下に置かない。 火災・故障の原因になります。	リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う原因になります。		 水ぬれ禁止		

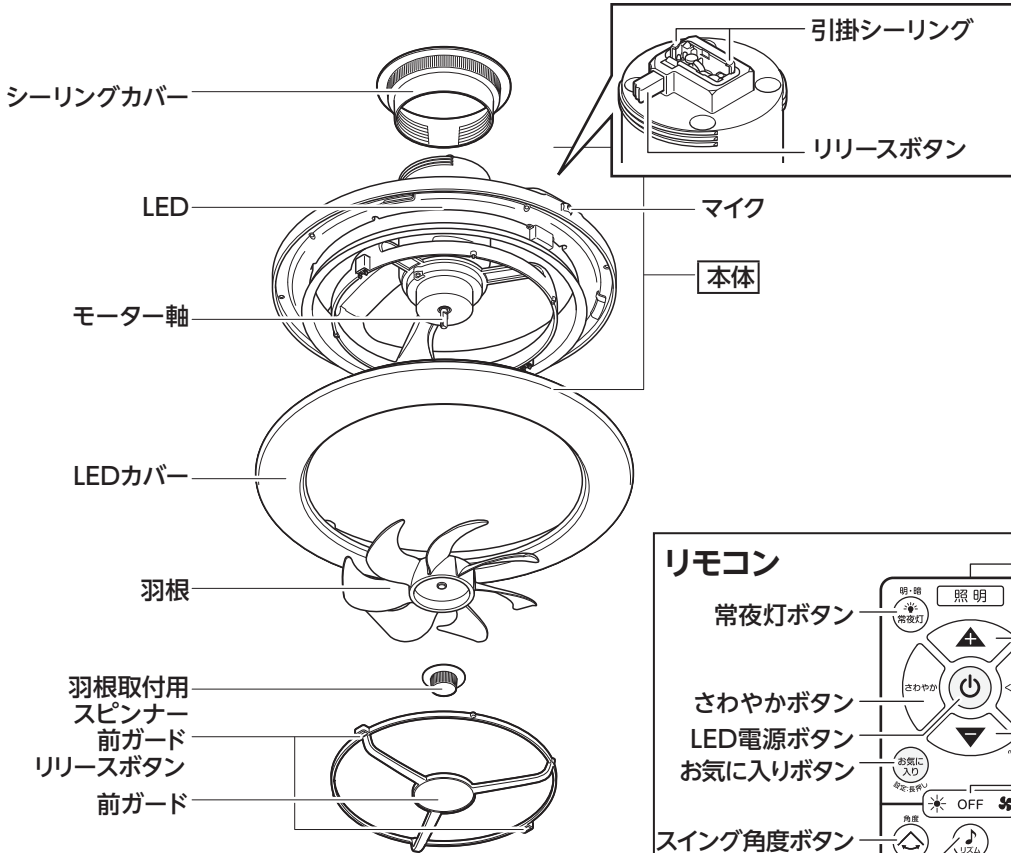
⚠ 注意

 指示	器具で指定されたワット数などを 守り、確実に取り付け器具に取り 付ける。 熱を持ったたり、故障、落下の原因に なります。	 禁止	リモコンの電池は指定以外の電池 を使用しない。 液もれなどの原因になります。	 禁止	開放型器具・風の通りの悪い密閉 型器具に絶対に取り付けない。 本機の引掛シーリングにはロック 機能があるため、取りはずしができ なくなることがあります。 風が十分に送られず、熱がこもり、 故障の原因になります。
	前ガードは正しく取り付け。 落下してけがの原因になります。		リモコンの電池は直射日光のあた る場所など高温になる場所に置か ない。 液もれや破裂、火災などの原因に なります。		風をからだに、長い時間続けてあ てない。 健康を害することがあります。
	被照射物との距離は1m以上あ げる。 色あせ・変色の原因になります。		ものをぶつけたり、衝撃を与えない。 けが、やけどの原因になります。		髪をガードに近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする原因に なります。
	使用場所によっては、天井や壁紙な どに悪影響を与えるので注意する。 連続照射・連続する風の流れの影 響を考慮してください。		点灯中や点灯直後は熱くなってい るため、器具に触れない。 やけどの原因になります。		次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感 電の原因になることがあります。
	設置して長時間使用すると、外部 に異常がなくても内部の劣化は進 行するので、点検する。 点検せずに使用を続けると、火災、 落下による感電、けがの原因にな ります。		本製品の一部分が破損した場合その まま使用を続けない。また破損し た部分に直接触れたりしない。 けが・やけど、落下の原因にな ります。		お手入れの際は住宅用洗剤・シン ナー・ベンジン・アルコール・磨き粉 などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因にな ります。
	リモコンの電池は⊕⊖を正しく入 れる。 間違えて入れると、故障するだけ なく、液もれや、破裂の原因にな ります。		ラジオやテレビなどの音響機器・ 映像機器を近くで使用しない。 雑音の原因になることがあります。 使用する場合はできるだけ離して 使用するようしてください。		
	長期間使用しないときは、リモコン の電池を抜く。 長期間入れたままにしておく と、液もれによって内部を汚したり、 破裂による火災やけがの原因にな ります。		ガードにハンガーなどを掛けない。 火災・故障の原因となります。		
	リモコンを廃棄するときは、電池を 抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の 原因となります。電池は各地方自 治体の指示に従って処分してくだ さい。		LEDの光を直視しない。 目に悪影響をおよぼす原因にな ります。		
	ガードの中に指などを入れない。 けがの原因になります。				

使用前に／ご使用上の注意

- 以下の器具には絶対に使用しないでください。
- ・調光のついた照明器具や回路。【調光・明るさを変える機能】(製品が故障したりチラついたります場合があります)100%点灯でも使用不可。
- ・誘導灯・非常用照明器具。
- ・屋外用器具。
- ・水銀灯、ナトリウムランプ、メタルハライドランプなどのHIDランプ器具。
- ・風呂場などの湿気が多い場所、水滴などがかかる場所。
- ・このほかの使用器具の種類によって寸法的、熱的、その他の状況により使用できない場合があります。
- 本製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)
- 本製品の周囲温度が35℃を超える場所では使用しないでください(推奨使用周囲温度は5～35℃です)。
- 酸、硫黄などの腐食性雰囲気(温泉地など)のところでは一般器具によるランプ(本製品)の使用はしないでください(漏電・落下・取付引掛部品腐食の原因)。
- 直流電源では絶対に使用しないでください(AC100V、周波数50Hz、60Hz以外の電源では使用しないでください)。
- 当社製品以外のリモコンが付いた照明器具や回路でご使用される場合、正常に動作しない場合があります。
- 赤外線リモコンを採用した機器(テレビやエアコンなど)の近くで点灯しますと、リモコンが誤作動することがあります。
- 水洗いや分解、改造はしないでください。LED光源のみの交換はできません。
- LEDライト部を直視しないでください。目に悪影響をおよぼす恐れがあります。
- LED光源にはバラストがあるため、同じ型名の製品であっても発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- 人感スイッチなどの自動点滅装置や遅れ停止スイッチなどには使用できません。

各部の名称とはたらき



出荷時LEDカバーがはずれた状態ですので、最初に(設置前に)LEDカバーを取り付けてください

必ずLEDカバーを取り付けてから設置作業をしてください。
LEDカバーを載せて右(時計方向)に回してください。

リモコン

送信部
照明
常夜灯ボタン
さわやかボタン
LED電源ボタン
お気に入りボタン
スイング角度ボタン
リズム風ボタン
ファン電源ボタン
ファンタイマーボタン

全灯ボタン
調光ボタン
くつろぎボタン
LEDタイマーボタン
OFFボタン
スイング回転ボタン
風量調節ボタン
リモコンCH設定ボタン
風向き切替ボタン

※CIRCULIGHT

リモコン用
単4形乾電池×2
(お試し用)

リモコンケース

リモコンケース用
ネジ×2

使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1個	リモコンケース取り付けネジ.....	2本
LEDカバー.....	1個	リモコン用単4形乾電池(お試し用).....	2本
リモコン.....	1個	取扱説明書(保証書含む).....	1部
リモコンケース.....	1個		

リモコンの準備

下記の手順で付属の電池(単4形乾電池)を入れてください。

1. リモコン裏の電池ぶたを開く

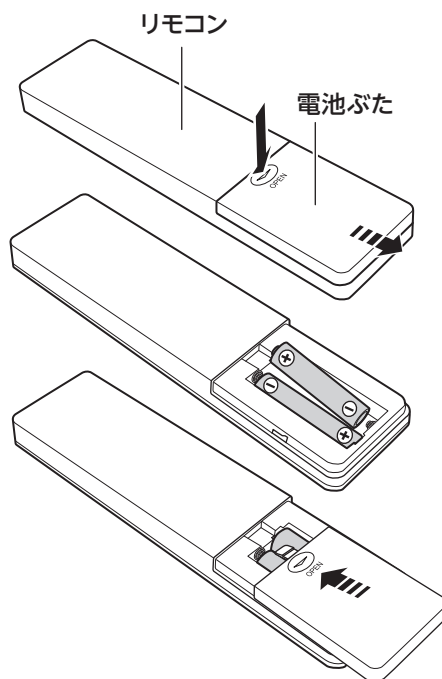
電池ぶたの「OPEN」部分を押しながら手前の方向へスライドさせて開きます。

2. ⊕と⊖の向きに注意して、電池を入れる

電池ぶたをはずして、電池を入れてください。

3. 電池ぶたを閉める

電池ぶたを右図の矢印の方向へスライドさせて閉めます。カチッと音がするまで押し込んでください。



使用可能範囲

- 本体から直線で約3m以内
 - 本体から左右に約30度以内
- ※リモコンと本体(LEDライト部)の間に障害物があると、リモコンが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

- 長期間使わないときは電池を取りはずす。
- ⊕⊖を正しく入れる。
- 種類の異なる電池や新旧の電池を混ぜて使用しない。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

⚠注意

- 電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。
- 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ニッケル系乾電池(オキシライド乾電池など)は絶対に使用しないでください。
- 充電式(ニカド・ニッケル水素など)電池を使用しますと、機器が持っている性能を発揮できないことがあります。(機器が誤作動するなど)
- 電池の消耗により正常に作動しない場合があります。その際は新しい電池と交換してください。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使用してください。

⚠警告

- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池のアルカリ液が目に入ったときは失明など障害のおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- 電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしないでください。
- 電池の(+)(-)を逆に使用しないでください。
- 電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
- 電池の(+)(-)を針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保存しないでください。
- 付属の電池は充電式につくられていません。充電すると液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- 使い切った電池はすぐ機器から取り出してください。
- 長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出してください。電池を入れたままにしておくと液漏れがあり危険です。

使用前の準備 (つづき)

LEDカバーの取り付け

本機はLEDカバーが取り付けられていない状態で出荷されています。開梱後、LEDカバーを取り付けてください。

1. 本体の上にLEDカバーを載せる

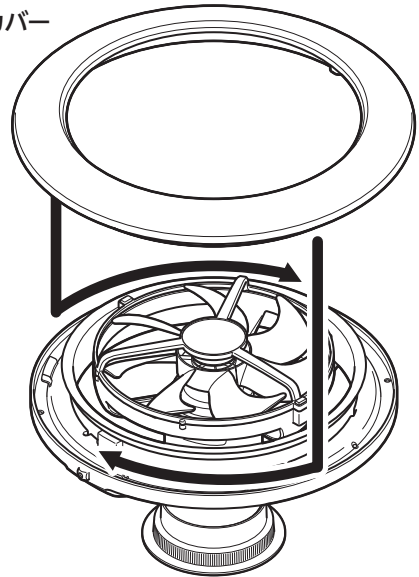
周囲などすき間なくぴったりと載せることができます。

2. LEDカバーを右(時計方向)に回す

カバーを回転させると、LEDカバーがロックされて回転しなくなります。

LEDカバーを本体に載せて右(時計方向)に回してください。

LEDカバー



LEDカバーの取りはずし

お手入れなどでLEDカバーをはずすときは、取り付けと逆にLEDカバーを左(反時計方向)に回すとロックがはずれ、LEDカバーを取りはずすことができます。



注意
長時間、LEDカバーを取り付けていない状態にしない。
LEDを傷つけたり、内部に異物が入ったりする原因になります。

羽根の向きを変える

通常、送風の向きは、リモコンにて切り替えます(下向き(送風・扇風機)・上向き(天井方向・空気循環))。これは回転方向を逆回転させることでできていますが、羽根の向きも変えることで、さらに効率よい送風を行なうことができます。

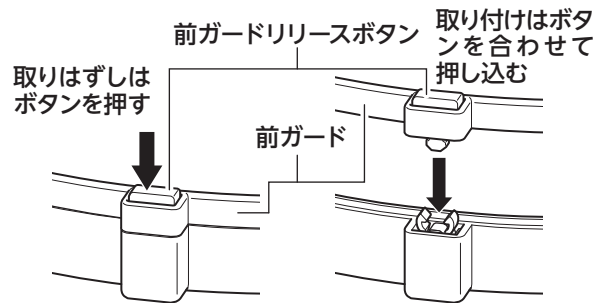
季節の変わり目にお手入れするときなど、それからの季節に合った羽根の向きに変えて、より効率よい送風をすることができます。

1. 前ガードの2か所ある前ガードリリースボタンを押して取りはずす

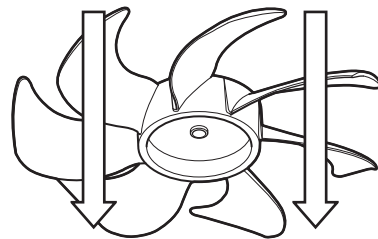
前ガードは、前ガードリリースボタンのほか、マグネットと金属で取り付けられていますので、簡単に取りはずすことができます。

2. 羽根取付スピナーをはずし、羽根を取りはずす

羽根取付スピナーは羽根をおさえながら右(時計方向)に回して取りはずします。

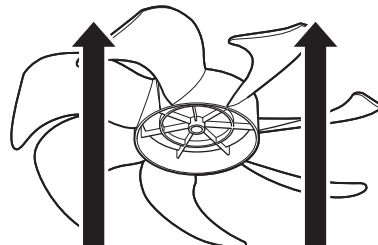


付属の羽根は「表」で下方向に風を送るように設計されています。そのため、羽根を上向き(裏)にして取り付けなおすと上方向に効率よく風を送ることができます。



表

風: 下方向
床側に向けて風を送る
表示: 表



裏

風: 上方向
天井に向けて風を送る
表示: 裏

3. 羽根の向きを確認して羽根を取り付ける

羽根の中心部の形状、「表」・「裏」の刻印で判別できます。

羽根は、モーター軸の半月形状(○)に合わせて取り付けてください。

4. 羽根取付スピナーを取り付ける

羽根取付スピナーは、必ず羽根をおさえながら左(反時計方向)に回して取り付けます。



注意 羽根取付スピナーはしっかりと取り付ける。
羽根がはずれて事故の原因になります。

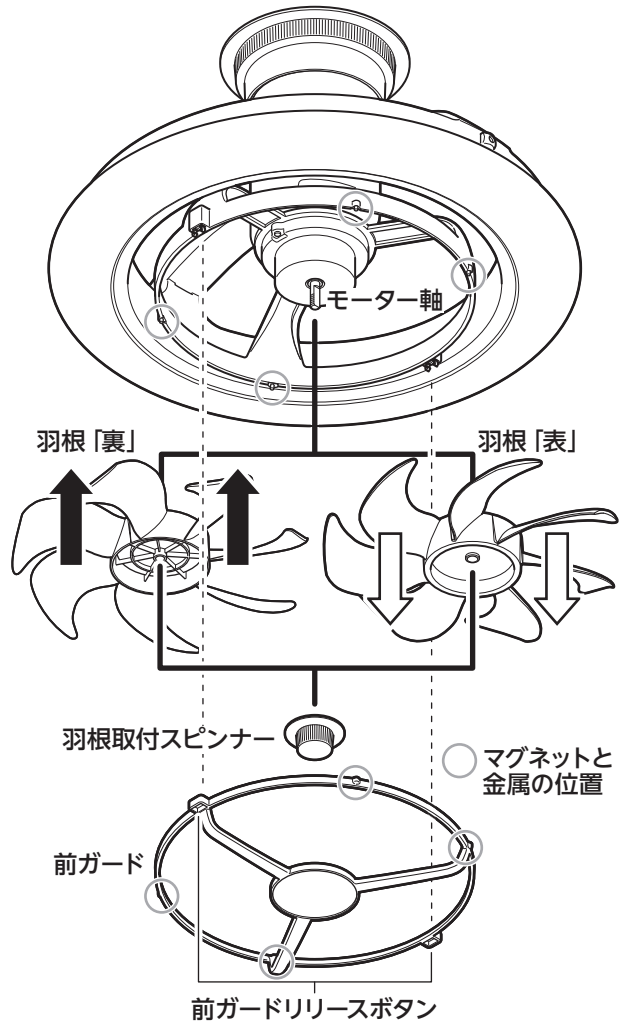
5. 前ガードを取り付ける

前ガードリリースボタンのあった場所にボタンを合わせて押し込むと取り付けられます。

マグネットと金属(4か所)も正しく取り付けられていることを確認ください。



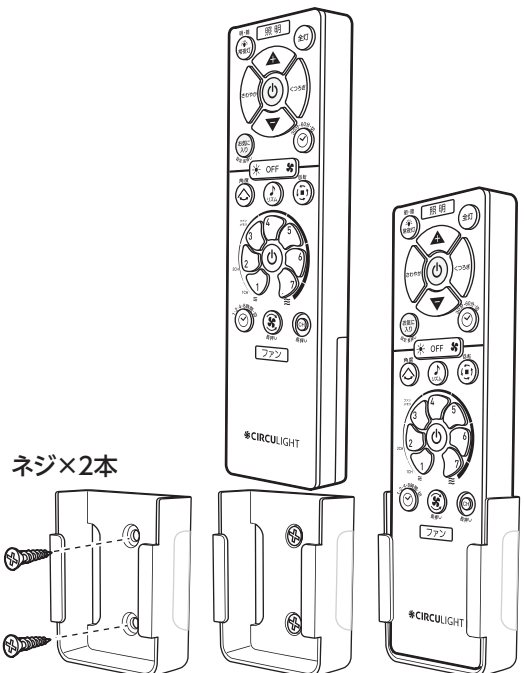
警告 前ガードを取り付けずに運転をしない。
事故・故障の原因になります。



リモコンケースを設置する

付属のリモコンケースは、リモコン反応を確認のうえ、付属のネジ2本を使用して設置してください。

※ 設置場所によってはリモコンケースに入れたまま操作しても、本製品は反応しないことがあります。



設 置

取り付け環境の確認

警告 配線器具への取り付け・取りはずしや、お手入れをするときは、必ず壁スイッチを切つて行なう。

1. 取り付ける天井の状態を確認する
右図[取り付けることのできない天井]のような天井になっていないことを確認してください。

2. 取り付ける天井についている配線器具を確認する

天井に右図[取り付けることのできる配線器具]のような配線器具が設置されていれば、取り付けることができます。

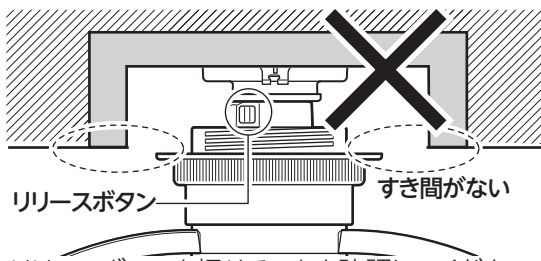
ただし、配線器具が以下のようなものである場合は取り付けできません。

取り付けできない配線器具

- ・電源端子が露出しているもの
- ・破損しているもの
- ・取り付けが不十分でグラグラするもの
- ・ケースウェイに取り付けてあるもの
- ・配線だけのもの
- ・出しろが少ないもの（埋込ローゼット/10mm以下、引掛シーリング/21mm以下）

・配線器具が設置されていない場合や、取り付けできない配線器具でも交換により取り付けできる場合がありますので、販売店・工事店にご相談ください。

リリースボタンを押すことができるすき間があるか確認する

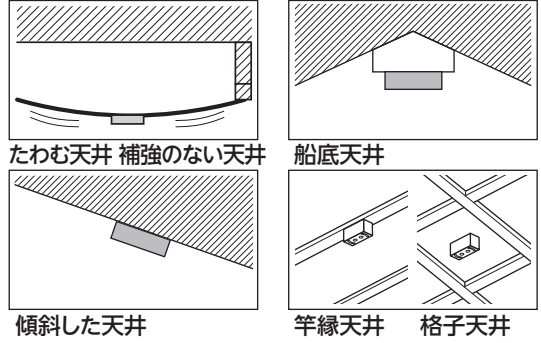


- ・リリースボタンを押せることを確認してください。取りはずすときに、手指を入れて、引掛シーリングのリリースボタンを押して回す必要があります。
- ・下向きの開放型器具に取り付けることはできません。
- ・密閉型器具、密閉型に近い器具、断熱材施工器具は使用できません。

注意

- ・開放型器具・密閉型器具には、絶対に取り付けられない。引掛シーリングにロック機能があるため、取りはずしができなくなります。
- ・相応の脚立などを使用して取り付け。本体を目の前で回して取り付ける程度の高さで取り付け・取りはずしを行なうようにしてください。

[取り付けることのできない天井]



[取り付けることのできる配線器具]

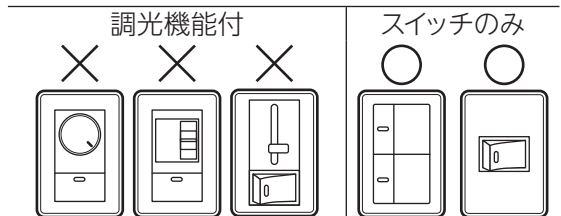
出しろ11 mm	出しろ22 mm	
引掛埋込ローゼット	丸型フル引掛シーリング	丸型引掛シーリング
引掛埋込ローゼット (ハンガーなし)	丸型フル引掛ローゼット	角型引掛シーリング

[取り付けできない配線器具]



3. 取り付ける電源（壁スイッチなど）に調光機能がないことを確認する

調光機能のついた電源（壁スイッチなど）の場合（100%のまま入切でも）、使用できません（販売店・工事店にご相談ください）。



※ 上記イラストのようなスイッチ以外にも、調光機能の付いたスイッチは使用できません。

4. 周囲の環境を確認する

以下の場所には設置できません。

- 湿度の高い場所 水がかかる場所 結露の発生する場所 屋外
- 直射日光のあたる場所 火や熱源に近いところ
- リモコン発信場所から3m以上ある場所
→ 正しく操作できません。

配線器具への取り付け



警告 配線器具への取り付け・取りはずしや、お手入れをするときは、必ず壁スイッチを切つて行なう。

1. 壁スイッチが切になっていることを確認する
2. 引掛シーリングの引掛刃を、天井の配線器具へ差し込み①、本体を右（時計方向）に回して配線器具へ取り付ける②

引掛シーリングのリリースボタンが「カチッ」というのを確認ください。

- 強く回しすぎると配線器具の破損の原因になります。
- 右回転させて回らなくなったら回転をやめてください。無理に回すと、配線器具の破損の原因になります。

※回す方向は、下の前ガード側から見た方向です。

3. シーリングカバーを上押し上げ、右（時計方向）に回して③、配線器具が隠れる程度まで上げる

- シーリングカバーが天井に均一に触れる程度にすると、本体が固定され、本体の振動が抑制されます。
- 回しすぎると天井の素材を傷つけたり、配線器具から本体を離すことになり、落下の危険性もありますので適度に調節してください。



- 配線器具へ引掛シーリングを取り付けるとき、本体を回しすぎない。本機・配線器具の破損の原因になります。
- シーリングカバーを回しすぎて上げすぎない。天井の傷つき、落下の原因になります。

当社サイトに取り付け方法の動画を掲載しています。
サーキュライトEZシリーズ

CIRCULIGHT

取り付け方法 HOW TO 動画

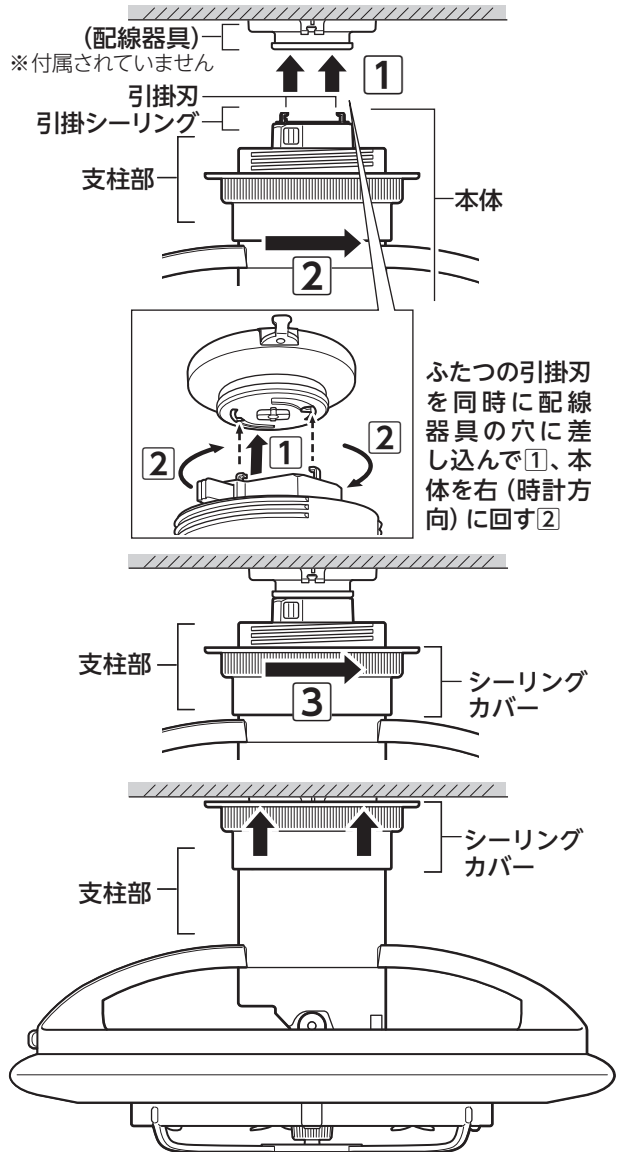
<https://circulight.com/support/>



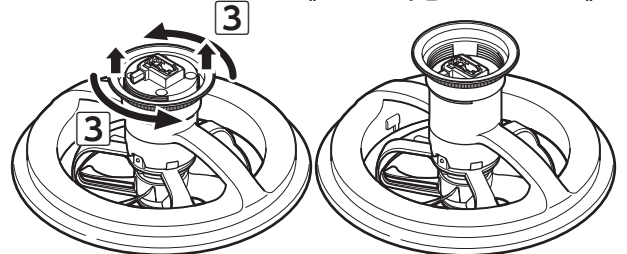
出荷時カバーがはずれた状態ですので最初に（設置前に）カバーを取り付けてください（5ページ）

LEDなど傷つける可能性があるため、必ずカバーを取り付けてから設置作業をしてください

天井に固定された配線器具をご使用ください。



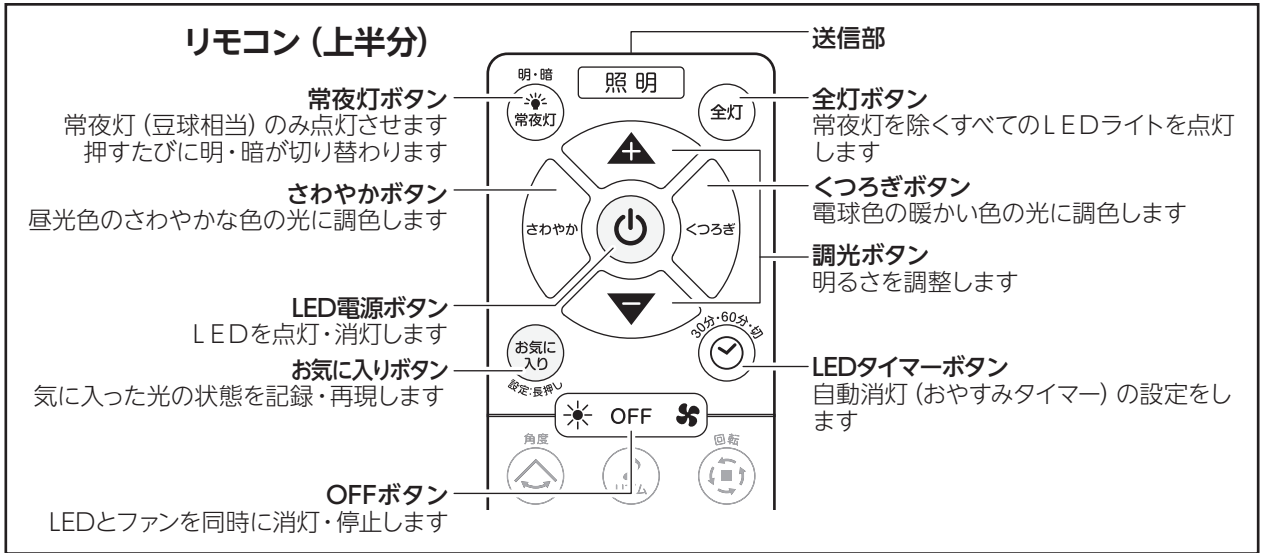
《上から見たイメージ》



シーリングカバーを回して上げる

シーリングカバーを一番上まで上げた状態

正しい使いかた《LED》



LEDの点灯・消灯

1. 電源 (壁スイッチなど) を入れてから リモコンの(全灯)全灯ボタンを押す

正常に接続されていると、調光100%で点灯します。

・点灯しない場合、接続に問題があることがあります。電源 (壁スイッチなど) を切って、以下の点を確認してください。

- ・配線器具と引掛シーリングの接続
- ・引掛シーリングと配線器具との接続を目視で確認

上記接続に問題がないことを確認してから電源 (壁スイッチなど) を入れてください。

2. リモコンの(調光)調光ボタン・(さわやか)さわやか/かつろぎボタンを押して調光・調色する

(調光)調光ボタン・(さわやか)さわやか/かつろぎボタンを押すことで調光・調色します。

- ・(調光)調光ボタンは、押すたびに少しずつ明るく (もしくは暗く) なります (10段階)。
- ・(さわやか)さわやか/かつろぎボタンは、さわやかボタンで昼光色のさわやかな色、かつろぎボタンで電球色の暖かい色に調色することができます (7段階)。

3. お気に入りの調光・調色をメモリーしておくときは、(お気に入り)お気に入りボタンを長押しする

(お気に入り)お気に入りボタンを長押しすると、「ピピピッ」と音がしてメモリーされたことがわかります。(お気に入り)お気に入りボタンを押すとメモリーが再現されます。

4. 常夜灯を点灯するときは、(常夜灯)常夜灯ボタンを押す

(常夜灯)常夜灯ボタンを押すと、全体のLEDが消灯し、常夜灯が点灯します。

・常夜灯には強/弱があり、(常夜灯)常夜灯ボタンを押すたびに強弱が切り替わります。

5. おやすみタイマーを設定する

点灯時、(LEDタイマー)LEDタイマーボタンを1回押すと、30分後に自動で消灯します。2回押すと、60分後に自動で消灯します。タイマーを解除するときは、もう1度押してください。

※ 解除されたとき、タイマー設定時よりも長く音が鳴ります。

おやすみタイマーの音

音のイメージ	ピッ	ピピッ	ピー
タイマー時間	30分	60分	解除

**6. リモコンで消灯／点灯するときは、
④LED電源ボタンを押す**

④LED電源ボタンを押すと、ファンに関係なくLEDのみ消灯／点灯をすることができます。

7. リモコンの[* OFF *]OFFボタンまたは壁スイッチで消灯する

[* OFF *]OFFボタンを押すと、壁スイッチで電源を切ったときのように、LEDとファンが同時に停止します。

- どちらかのみ電源を切る場合は、④LED電源ボタンまたは⑤ファン電源ボタンを押して電源を切ります。

壁スイッチメモリー

壁スイッチで入・切する場合、壁スイッチで切った最後の状態で点灯します。ただし、常夜灯、消灯はメモリーされず、全灯で点灯します。

リモコンメモリー

電源ボタンで切(OFF)にした最後の状態で点灯します。(常夜灯はメモリーされません)

本体とリモコンのチャンネルを設定する

同じ製品が2台ある場合、本体とリモコンにチャンネルを設定することで、独立して操作することができます。電源(壁スイッチなど)を入れてから、下記の手順で本体とリモコンのチャンネル設定をしてください。

1. 本体にリモコンを向けて、③リモコンCH設定ボタンと風量調節ボタン「1」または「2」を同時に長押しする

風量調節ボタン「1」を押した場合1CH、「2」を押した場合2CHに設定されます。

「CH1」に設定した場合 (ピーピッ)

ピーと長い音に続いて短いピッ音が1回鳴ります。

「CH2」に設定した場合 (ピーピピッ)

ピーと長い音に続いて短いピッ音が2回鳴ります。

- 出荷時は、本体・リモコンともにチャンネル1(CH1)に設定してあります。

- 《リモコンのみのチャンネル設定》本体のチャンネル設定を変えたくない場合は、本体にリモコンを向けずに(送信部を手で覆う、別の部屋で)チャンネル設定をしてください。

2. 2台の器具を設置する場合の設定

2台同時に操作する場合

本体1台目、本体2台目ともに本体を同じチャンネルに設定します。

- 本体1台目をチャンネル1(CH1)、本体2台目もチャンネル1(CH1)、リモコンもチャンネル1(CH1)に合わせます。

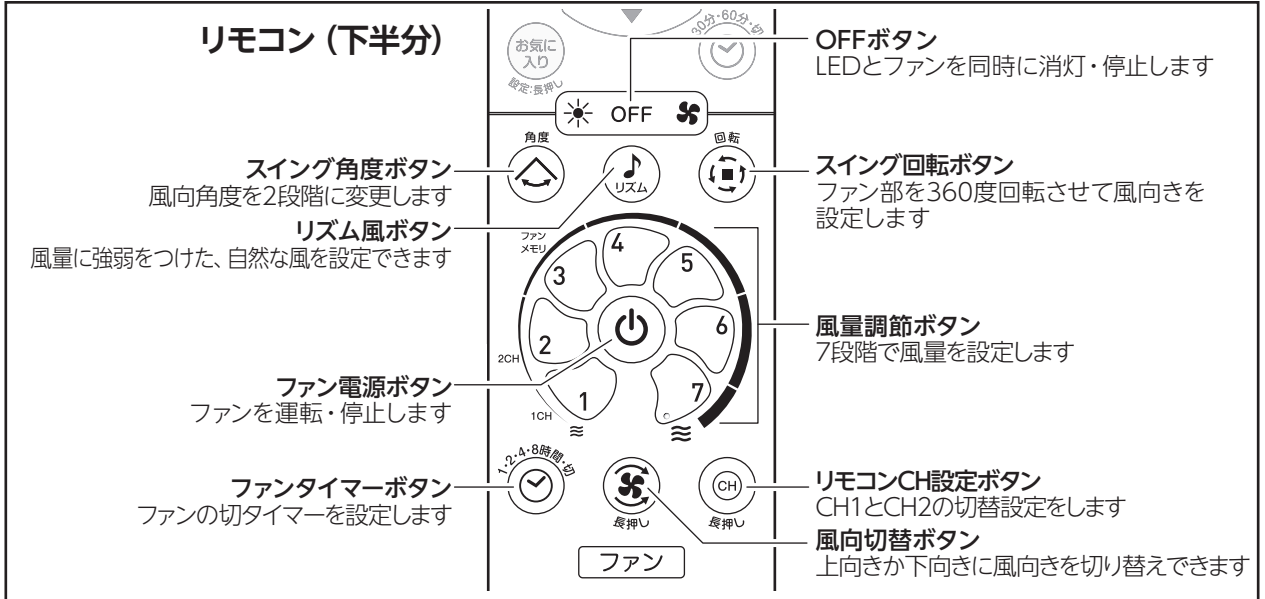
2台別々に操作する場合(部屋別で操作させたいなど)

- 本体1台目はチャンネル1(CH1)、本体2台目チャンネル2(CH2)
- リモコン1台目はチャンネル1(CH1)、リモコン2台目はチャンネル2(CH2)に合わせます。

注意	<ul style="list-style-type: none"> • 2台同じチャンネルにしても、器具間の距離やリモコン操作の方向により同時に動作しないことがあります。 • 付属のリモコンの操作に関係なく本製品の明るさが切り替わる場合は、本体とリモコンのチャンネルを変更してください。
-----------	--

音のイメージ	ピー ピッ — .	ピー ピピッ — ..
チャンネル	チャンネル1 (CH1)	チャンネル2 (CH2)

正しい使いかた《ファン》



運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

リモコンの④ファン電源ボタンを押すと、ファンの運転を開始します。

- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量で運転を開始します。

ファンは壁スイッチで電源を切った場合、次に電源を入れた時に、(購入時は)運転を開始しません(設定により壁スイッチで運転開始ができます)。

壁スイッチでファンを運転させる

- 風量調節ボタンの3(ファンメモリ)を長押しする設定されると「ピッピッ」と音がします。
- キャンセルする場合**
- 再度、風量調節ボタンの3(ファンメモリ)を長押しするキャンセルされると「ピーッ」と音がします。

2. 風量を調節する

リモコンにある7つの風量調節ボタンを押して風量を調節してください。

- 1が一番弱く、7が一番強い風になります。

3. リズム風機能を作動させる

運転中にリモコンの⑤リズム風ボタンを押すと機能が切り替わります。

⑥リズム風ボタンを1回押すと、リズム風になり、2回押すと解除され普通の風に戻ります。

リズム風設定		
音のイメージ	ピッ ・	ピー —
リズム風	リズム風	リズム風解除

リズム風 風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。風量を切り替えることで風量パターンが変化します。

4. 切タイマーを設定する

運転中に、⑦ファンタイマーボタンを押す回数で切タイマー時間が設定されます。設定された時間に対応した音が鳴り、設定されたことがわかります。

切タイマー設定

音のイメージ	ピッ	ピッピッ	ピッピッ ピッ	ピッピッ ピッピッ	ピー
音のイメージ	・	・・	・・・	・・・	—
切タイマー	約1時間	約2時間	約4時間	約8時間	解除

- 切タイマーをキャンセルするときは、⑦ファンタイマーボタンを何度か押して、ピーと音が鳴ることを確認してください。

5. リモコンの④ファン電源ボタンを押して運転を停止する

運転中にリモコンの④ファン電源ボタンを押すと、運転を停止します。

6. リモコンの[* OFF *]OFFボタンまたは壁スイッチで消灯・運転停止させる

[* OFF *]OFFボタンを押すと、壁スイッチで電源を切った時のように、LEDとファンが同時に停止します。

切り忘れ防止機能

ファン電源ON、または最後のリモコン操作から約12時間経過すると、ファンの運転が自動的に停止します。

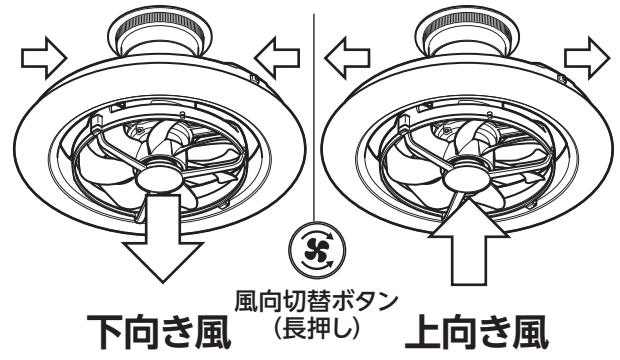
上下の風向きを変更する

1. 風向切替ボタンで風向きを変更する

⊗ 風向切替ボタンを長押しすることでファンの風向きを変更することができます。

- **下向き風・下降** 風を下向きにすることにより、体感温度を下げるすることができます(冷房時に有効)。
- **上向き風・上昇** 風を天井に当て、高いところにある暖かい空気を下に循環させることができます(暖房時に有効)。

※一度羽根を止めるため、風向切替には少し時間がかかります。



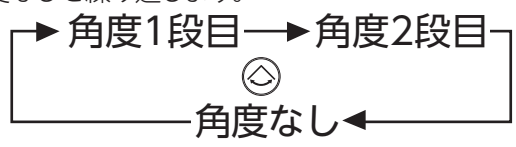
本機ではより効率的に風を送ることができるように、羽根の向き(表・裏)を変えて取り付けることができます(5ページ)。使用目的に合わせて羽根の向きを変えることをおすすめします。
ここでは下向きに風を送る「表」で羽根を取り付けた場合の説明をしています。

スイング動作を開始/停止する

スイング角度とスイング回転を組み合わせることによって、部屋のポイントに風を送ったり、風を広い範囲に送ることもできます。

1. ⊕ スイング角度ボタンで風向角度を付ける

運転中に⊕スイング角度ボタンを押すと、ファンに角度がつきます。押すたびに2段階の角度と角度なしを繰り返します。



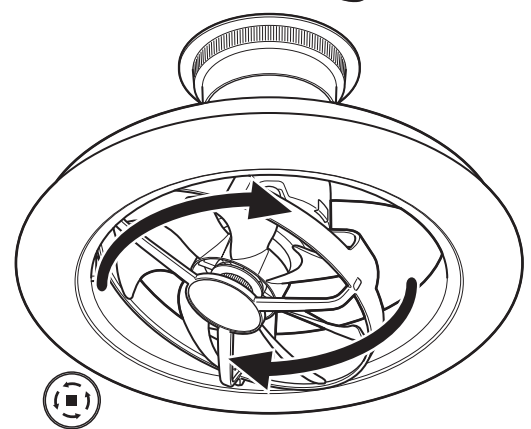
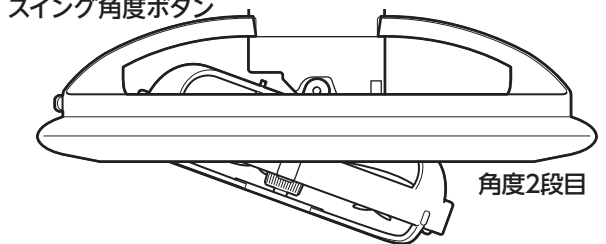
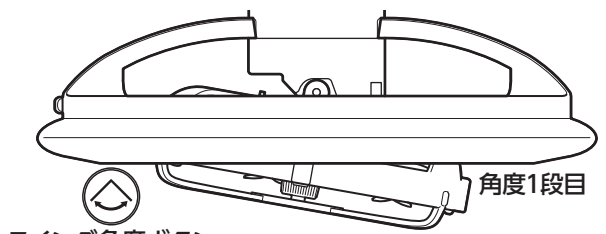
- 角度2段階目から角度なし・角度1段階目にさせるときは多少時間がかかります。
- ※ スイング角度設定時には動作音がありますが、故障ではありません。

2. ⊖ スイング回転ボタンで角度をつけたままファン部を回転させる

角度をつけた運転中に⊖スイング回転ボタンを押すと、ファン部が回転を始めます。押すたびに2段階の回転速度と回転停止を繰り返します。



- 風を送りたい位置まで回転させて、止めてください。
- 回転を続けることも可能です。シーリングライト真下のみでなく、広い範囲に風を送ることができます。
- ※ ⊕スイング角度ボタンで角度を付けていないと、回転しません。
- ※ スイング回転時には動作音がありますが、故障ではありません。



⊕ スイング角度・⊖ スイング回転中に壁スイッチを切にした場合、ファン部の状態はメモリーしています。
壁スイッチで電源を入れてリモコンでファンの運転を開始すると、前回電源を切る前の状態で運転開始します。

正しい使いかた《音声操作》

音声操作機能

本機に向かって「サーキュライト」と呼びかけると、音声操作機能が起動し約7秒以内の命令語を認識できるようになります。

LEDとファンの主な機能を音声で操作できます。

⚠️ 注意

- 命令音声認識されにくいときは、周囲の騒音をできるだけなくす。命令語がテレビやラジオなどの音声中に重なっていると、認識しにくくなります。音量をしばって命令語を話してください。
- マイクに届くような声の大きさを話さず、あまり小さな声ではマイクに声が届かず、認識しにくい場合があります。特に騒音が多い場合、騒音に負けない大きな声で命令語を話してください。
- 発音のしかた・速さなどによっては認識しない場合があります。正しい発音で、はっきりと話してください。

音声操作を開始する

1. 本機に向かって「サーキュライト」と呼びかけて、音声操作機能を起動させる

「サーキュライト」という言葉を認識すると、本体内側にあるインジケータが青色に点灯し、「ピッ」と音が鳴ります。

青色点灯中(約7秒間)は「サーキュライト」と呼びかけずに何度でも命令を続けることができます。

- マイクで音声を認識しているのでも、認識されにくい場合はマイクに向かって話すとう�효的です。

音声操作とファン風量：ファン風量が4以上で運転している場合は、音声認識しやすくするために、一時的にファン風量が3に下がります。音声認識が終わると元の風量に戻ります。

※音声認識中の風量調節命令は、すぐには動作しません。認識終了後に動作します。

2. 命令語を話す

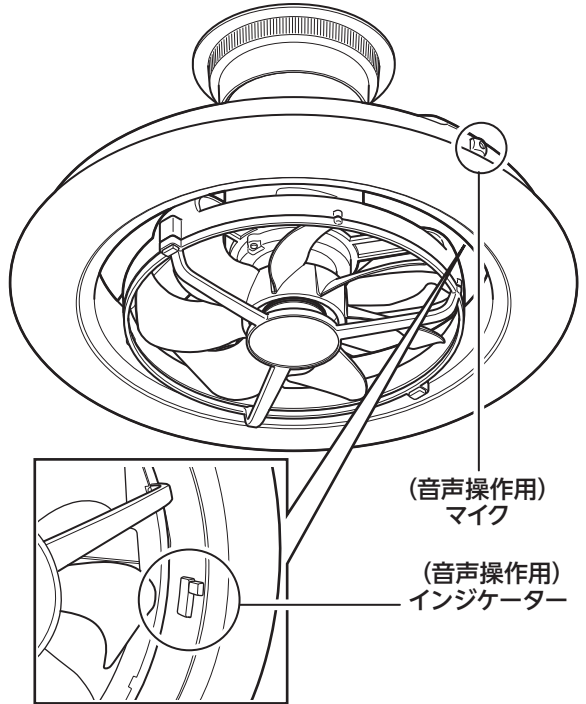
《「音声操作命令語一覧」(14ページ)》

命令語を認識すると、動作させるとともにピッと音が鳴ります。

決められた命令語以外は認識しません。できるだけ正しい発音で話してください。

- 動作しない・受け付けられない命令語のときは、「ピッ」という音は鳴りません(LEDの全灯状態で「明るく」と話した場合など)。
- LED・ファンとも、電源を入れたときなど、前回使用したときのリモコンメモリーされている状態になります。
- 命令語2はLEDならLEDが点灯した状態、ファンならファンが運転した状態でなければ、認識されません。

※音声操作中は、リモコンでの操作はできません。13



音声認識機能の切/入

例えば、近くに同じサーキュライトを設置してあり、音声認識機能によって同時に動作されると困る場合など、音声認識機能を入/切することができます。通常はこの機能は使用せず、「入」状態にしておいてください。

1. 本機に向かって「ボイスコントロール 停止」と呼びかけて、音声操作機能を「切」にする

音声操作機能を「切」にすると、「サーキュライト」と呼びかけても、音声操作機能は起動しません。2台併用するとき、1台は音声認識を使用し2台目はリモコンで操作することなど対応できます。

2. 本機に向かって「ボイスコントロール オン」と呼びかけて、音声操作機能を「入」にする

音声操作機能を「入」にすると、「サーキュライト」と呼びかけることで音声操作機能が起動します。

音声操作機能を「切」にすると、「ボイスコントロール オン」と呼びかけて音声操作機能を「入」にしなくても、音声認識機能は動きません。配線器具から取りはずしても「切」の状態は続きます。

音声操作命令語一覧

- ・命令語を認識すると、動作させるとともにピツと音が鳴ります。
- ・認識できない命令語、動作できない命令（調光がすでに最大値になっているなど）では音は鳴りません。
- ・命令語2はLEDならLEDが点灯した状態、ファンならファンが運転した状態でなければ認識されません。

共通		
音声認識起動	サーキュライト	音声認識開始 (約7秒間は複数の命令を続けて行なうことができます)
音声認識機能切(OFF)	ボイスコントロール停止 (ぼいすこんとろーるていし)	音声操作 切(OFF) (音声操作が無効になります)
音声認識機能入(ON)	ボイスコントロールオン	音声操作 入(ON) (音声操作が有効になります)

機能	命令語1	命令語2	動作内容
LED・ファン同時			
同時切(OFF)	両方けして (りょうほうけして)		LED消灯・ファン停止
同時入(ON)	両方つけて (りょうほうつけて)		LED点灯・ファン回転
同時入(ON)	フルパワー 最大 (さいだい)		LED全点灯・ファン最大回転

LED			
入(ON)	ライトつけて 電気つけて (でんきつけて)		LEDを点灯 (リモコンメモリー状態で点灯)
切(OFF)		ライトけして 電気けして (でんきけして)	LEDを消灯 (電源ボタンで切(OFF)と同じ)
全灯	全灯(ぜんとう)	全灯(ぜんとう)	LED全点灯
調光+		明るく(あかるく)	一段明るくする
調光-		暗く(くらく)	一段暗くする
調色 昼光色		さわやか	一段さわやかにする
調色 電球色		くつろぎ	一段くつろぎにする
常夜灯	常夜灯(じょうやとう)	常夜灯(じょうやとう)	常夜灯点灯 (常夜灯の明→暗→消灯、を繰り返す)

ファン			
入(ON)	ファンつけて		ファンを入(ON)
切(OFF)		ファンけして	ファンを切(OFF)
風を強く		ファン強く (ふあんつよく)	風量を一段強く
風を弱く		ファン弱く (ふあんよわく)	風量を一段遅く
首ふり 傾き		傾き (かたむき)	首ふり角度動作 (角度1段→角度2段→角度なし、を繰り返す)
首ふり 回転		回転 (かいてん)	首ふり回転動作 (回転(速)→回転(遅)→回転なし、を繰り返す)

※ 上記以外の機能进行操作する場合は、リモコンで操作を行なってください。

お手入れと保存



お手入れの際は、必ず壁スイッチを切り、配線器具からはずす。
感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体に水をかけて洗わないでください（感電・故障の原因になります）。

通常のお手入れ

前ガードについたホコリは、すきま用ノズルなどを取り付けた掃除機などで取り除いてください。

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸して、かたくしぼった柔らかい布で拭きとり、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります）。

前ガードと、LEDカバー、羽根、シーリングカバーのみ丸洗いすることができます。

配線器具からの取りはずしかた

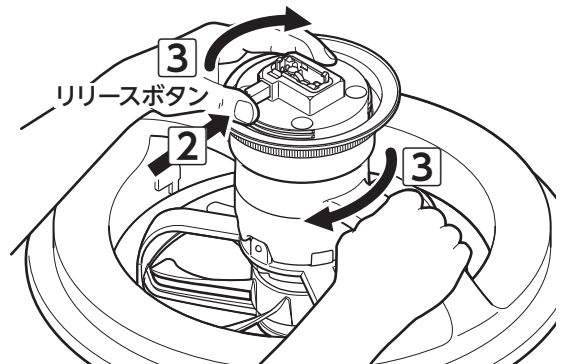
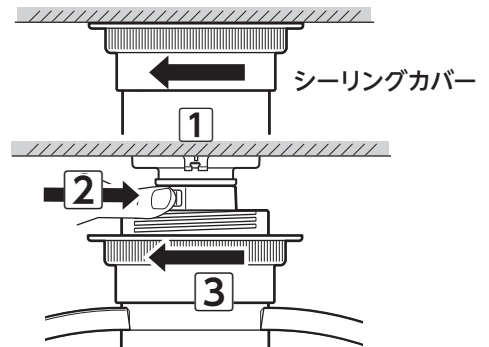
1. 壁スイッチを切になっていることを確認する
2. シーリングカバーを左（反時計方向）に回して下げる①
3. 引掛シーリングにあるリリースボタンを押して②、本体を左（反時計方向）に回して配線器具から取りはずす③

本体を回すときに、取り付けのときと違って力が入りやすいので、回しすぎて引掛シーリング部分を破損させないようにしてください。

※ 回す方向は、下の前ガード側から見た方向です。



- ・取りはずし作業は、適切な脚立などを使用し、落下させないように、2人以上で行なう。
- ・取りはずしは回しすぎないように注意する。破損・故障の原因となります。



※上（天井側）から見たイメージ。下から見ると、回す方向は逆（左（反時計方向））です。
右手で本体をつかみ、左手の親指でリリースボタンを押しながら慎重に全体を回転させます。

前ガード・羽根の取りはずしかた

1. 前ガードの2か所ある前ガードリリースボタンを押して取りはずす

前ガードは、前ガードリリースボタンのほか、マグネットと金属で取り付けられていますので、簡単に取りはずすことができます。

2. 羽根取付スピナーをはずし、羽根を取りはずす

羽根取付スピナーは羽根をおさえながら右(時計方向)に回して取りはずします。

前ガード・羽根の取り付けかた



前ガードを取り付けずに運転をしない。
事故・故障の原因になります。

1. 羽根の向きを確認して羽根を取り付ける

羽根の中心部の形状、「表」・「裏」の刻印で判別できます(羽根の向きを変えることで、逆回転のときに、より効率的に送風できるようになります。「羽根の向きを変える」(5ページ))。

羽根は、モーター軸の半月形状(○)に合わせて取り付けてください。

2. 羽根取付スピナーを取り付ける

羽根取り付けスピナーは、必ず羽根をおさえながら左(反時計方向)に回して取り付けます。



羽根取付スピナーはしっかりと取り付ける。
羽根がはずれて事故の原因になります。

3. 前ガードを取り付ける

前ガードリリースボタンのあった場所にボタンを合わせて押し込むと取り付けられます。マグネットと金属(4か所)も正しく取り付けられていることを確認ください。

当社サイトに取り付け方法の動画を掲載しています。
サーキュライトEZシリーズ

CIRCULIGHT

取り付け方法 HOW TO 動画

<https://circulight.com/support/>



定期的なお手入れ



お手入れをするときは、必ず壁スイッチを切って、本体を取りはずして行なう。

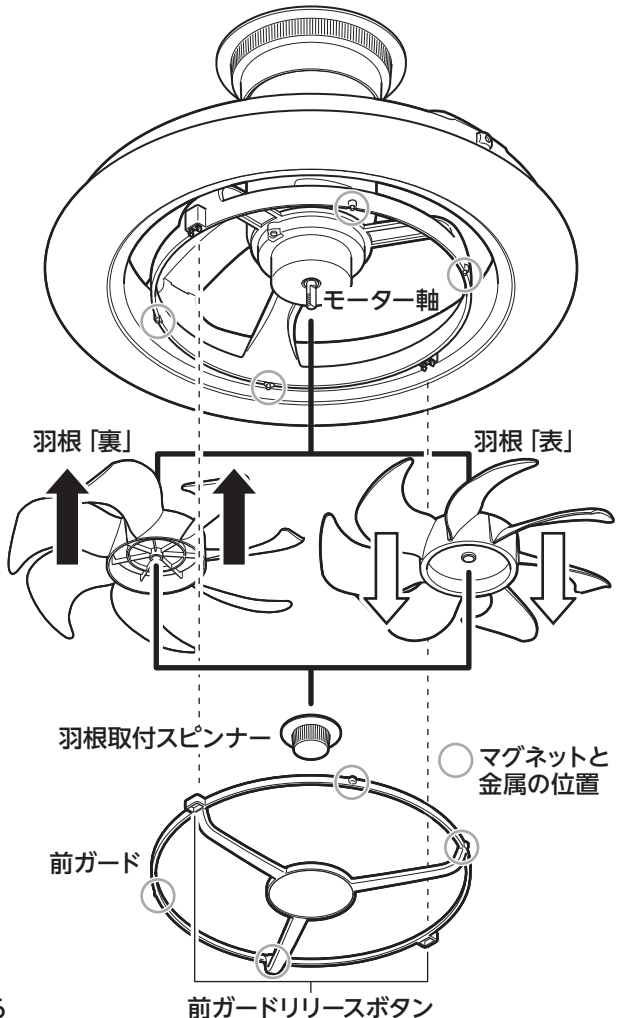
羽根は定期的にお手入れしてください

• 使用しているうちに風が弱くなった場合、羽根にホコリなどが付着して、風量が低下している可能性があります。

ホコリなど汚れが付いていないように見えても、風が弱くなったと感じられるときは、お手入れで改善することがあります。

保存のしかた

- 長期間(3か月以上)設定を変更せず、リモコンを使用しないときは、電池を取りはずしておいてください。
- 本体を取りはずして保存する場合は、お手入れをして、十分乾燥させてから、ホコリが付かないようにビニール袋などに入れて、湿気のない場所に保存してください。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
LED部		
点灯しない	電源(壁スイッチなど)が「切(OFF)」になっている	電源(壁スイッチなど)を「入(ON)」にする
	ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	引掛シーリングと配線器具が確実に接続されていない	引掛シーリングと配線器具を確実に接続する
点灯中・消灯直後など異音がある	使用環境により電源部から多少の音が発生することがあります	問題ありません。
ファン部		
羽根がまわらない	電源(壁スイッチなど)が「切(OFF)」になっている	電源(壁スイッチなど)を「入(ON)」にする
	ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	引掛シーリングと配線器具が確実に接続されていない	引掛シーリングと配線器具を確実に接続する
突然運転が止まる	切り忘れ防止機能(12時間)がはたらいている(11ページ)	リモコンの㊟ファン電源ボタンを押して運転を開始してください
	タイマーボタンを押した	リモコンの㊟ファン電源ボタンを押して運転を開始してください
異音がある	前ガードが正しく取り付けられていない	前ガードを正しく取り付ける
	天井へ正しく取り付けられていない	天井への取り付けを再度確認する
壁スイッチでファンが動作しない	問題ありません(壁スイッチでファンが動作するように設定していない)	壁スイッチでファンが動作するように設定する(「壁スイッチでファンを運転させる」(11ページ))
音声認識をさせると、風が弱くなる	ファン風量が4以上で運転中に音声認識があると、一時的にファン風量が3以下になる	問題ありません(13ページ)
共通部		
リモコンが正常に動作しない	リモコンの電池が正しく取り付けられていない	リモコンの電池を正しく入れなおす
	リモコンの電池が切れている	リモコンの電池を新しいものにする
	本体の受光部に信号が届いていない	障害物を取り除く、もしくは受信可能な範囲から操作する
	本機に向けて操作していない	本機に向けて操作する
	本体とリモコンのチャンネルが合っていない	本体とリモコンのチャンネル設定を合わせる(10ページ)
音声認識をしない	電源(壁スイッチなど)が「切(OFF)」になっている	電源(壁スイッチなど)を「入(ON)」にする
	ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	最初に「サーキュライト」と呼びかけていない	最初に「サーキュライト」と呼びかける(14ページ)
	「サーキュライト」のあとすぐに命令を出した	青ランプ点灯したのを確認してから命令する
	「サーキュライト」も認識しない場合は、音声認識機能が切になっている	音声認識機能を入にする(13ページ)
	命令語が違う	決まった命令語で話す(14ページ)
	声が小さい	声を大きくする
雑音大きい	テレビなどの音(雑音)を低くする・窓を閉める	

よくあるご質問

Q	停電復帰後に勝手に点灯してしまいます。
A	正常動作です。(壁のスイッチは「入(ON)」状態で、リモコンで「切(OFF)」にしていた場合) 通常の停電復帰時は、スイッチやリモコンを探す必要がないよう、照明が点灯した状態で復帰する設定になっています。点灯中に停電などで一定時間電源が切れた場合、直前の点灯状態で点灯します。
Q	停電復帰後、勝手に点灯しないようにできますか。
A	壁スイッチを「切(OFF)」にしてください。照明器具側では設定できません。
Q	リモコンで電源を「切(OFF)」にしても、急に消灯しない。
A	正常動作です。本製品は急に消灯せずにゆるやかに消灯していきます
Q	LED部またはファン部が故障しました
A	どちらかが故障した場合は、ご使用を中止して販売店またはドウシシャお客様相談室にご相談ください。

長年ご使用の場合はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源を入れても点灯しない。
- ・チカチカしたり点滅する。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、使用を中止してください。
製品の故障または寿命と考えられるため、販売店またはドウシシャお客様相談室にご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行なっています。

	[製造年](本体に西暦4桁で表示してあります)
	[設計上の標準使用期間](本体に表示してあります)
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。	

(設計上の標準使用期間とは)

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件(JIS C9921-1による)

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30°C	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷(風速)	
規定時間 など	運転時間	8h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	110日/年	
	スイッチ操作回数	550回/年	
	首振運転の割合	100%	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

アフターサービスについて

●製品の保証について

1. この製品には保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. 保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

●修理を依頼されるときは

⚠警告

- ・故障のときは、ただちに使用をやめて配線器具から取りはずし、お買い上げの販売店にこの製品をお持込みのうえ修理をお申し付けください。
- ・ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

アフターサービスについてわからないことは…

お買い上げの販売店、またはドウシシャお客様相談室にお問い合わせください。

製品についての
ご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

ドウシシャ福井カスタマーセンター

☎0120-104-481

【受付時間】 9:00~17:00 (祝日以外の月~金曜日)
〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<https://www.doshisha.co.jp/support/faq/lighting.html>



ドウシシャのパーツ購入は

ドウシシャマルシェ

DOSHISHA Marché 公式オンラインストアで
ONLINE STORE

<https://www.doshisha-marche.jp/>

